



CATHAY PACIFIC

エントランスの壁面には1,000×3,500mmの銅板が30枚、約100m<sup>2</sup>使用されている。銅(丹銅)の表面は硫化仕上げ。ダークブラウンで落ち着いた色合いとなっている。



受付カウンターも銅板(丹銅、硫化仕上げ)が使用され、ハンドバッグレストは真鍮製



1



2



3



4



5



6

## フライト前の贅沢なひととき 銅につつまれた空港ラウンジ

羽田空港に昨年12月、新しいラウンジがオープンした。「キャセイパシフィック・ラウンジ」は香港を拠点とするキャセイパシフィック航空会社がおもにビジネスクラス、ファーストクラスの利用者向けに開設したスペースである。国際線乗り入れる、日系以外の航空会社が羽田空港に自社ラウンジを設けるのは初となる。

ラウンジのエントランスは落ち着いたダークブラウンの銅が壁面を覆う。一歩足を踏み入ると、受付カウンターや家具、小物類は落ち着いたダークブラウンの銅で統一され、バーカウンターは真鍮製で黄金にきらめく。

同社の羽田空港山本支店長はこう語る。

「ロンドンを拠点に活躍するデザイナー イルゼ・クロフォード氏率いるスタジオイルゼが内装をデザインしました。木と銅を基調とし、ぬくもりと落ち着いた表現をしています。まるで家庭のリビングにいるように、お客さまにゆっくりいただけたらと思います」

心地よい空間で過ごす贅沢なひととき。搭乗前から素敵な旅はもうはじまっているのかもしれない。



キャセイパシフィック航空会社  
羽田空港支店 支店長  
山本 次朗 氏

①②バーカウンターは真鍮製。③室内はくつろぎの空間が広がる。④⑤⑥パントリーやトイレタリーなど、家具や小物類にも銅が多用されている。